

拝啓 椎橋邦雄先生

金子 大

椎橋先生，すっかりご無沙汰しておりますが，いかがお過ごしでしょうか。さよならも云わずに先生が行かれてしまってから早くも1年半が過ぎました。

思えば先生はつねに前向きで，いつも勉強のことを考え，いつも学生には丁寧に指導を行い，飲み会ではいつもにこにこ明るく楽しんでいらっしゃいましたね。私が本学に着任した際の頃，先生は気さくに暖かく声をかけてくださり，初対面だったのに何か以前からの知合いであるかのような印象を抱いたのを記憶しています。私が本学で何とか教員生活を始められたのも，同僚の中で先生のような人がいてくださったからだと思います。どうもありがとうございました。

ちょうどその頃先生は，かなり頻繁に外部から研究者を招待して学内で

研究会を開催されておりましたよね。母校の早稲田大学関連の先生や，同大の海外からの研修生，さらにはアメリカの大学の先生にわたるまで多くの人を招待されていたように記憶しています。その研究会もさることながら，そのあとの懇親会



ゼミの学生と

も楽しかったですね。確か先生がドイツからの早大への研修生を招いた際には、研究会終了後にみんなで昇仙峡へドライブしましたね。このような研究会を開催してくださったお蔭で、私は、分野は違えど大いに学問的刺戟を受け、大学教員たる者自分の専攻分野にかぎらず広い範囲を勉強しなければならないという意識を抱くことができました。ありがとうございます。もっともその後自分では勉強は進んでいませんが。

先生は誰にでも気さくに屈託なく接するお人柄の持ち主で、それが学生に人気でしたよね。とくに女子学生に人気が高かったのは、当学科に「公知の事実」といってもいいのではないのでしょうか。私は身をもってそれを経験しました。先生が入院中に私が代理で担当した2年生のゼミは、全員が女子学生でしたから。実はこれらのことはちょっと大袈裟に云いますと、当学科の今後に関わることであるのです、先生。どうしたらそのように女子学生を集めることができるのですか。当学科は真面目な話女子学生を増員させる目標を立てています。どうしたらそれが達成できるか、教えてもらえませんか。どうしたら女子学生を惹きつけられるか、先生。お知恵をお貸しください。

先生はいい意味でマイ・ペースをつねに保持されておりましたね。私が記



お気に入りのウクレレを演奏しています

憶しているのは、会議で議論が行詰ったとき、先生の何気ない一言で事態が一気に打開するということが何回かあったように思います。たとえば「この段階でそういうことを云っても、もうしょうがないんじゃないの」といった、飄々とした

拜啓 椎橋邦雄先生 7



手品にハマっています

先生のセリフです。それによりみんなが一瞬で納得し、雰囲気が全面的に解決へ向かったことが何度かあったように思います。先生のペースで会議を冷静に見てくださったからだと思います。ありがとうございました。

2000年代に入ってから、少々体調を崩されていたようですが、「30数年来の暴飲暴食が祟っちゃってね」などと半ば自虐的に云われていましたね。しかしそれ

もかなり回復し、学部や学科の飲み会にも出席してくださってましたね。非常勤先の大学で転倒され、東海大学八王子病院の病室でお会いした際には、完全に元の椎橋先生で、「この病院いいね。気に入っちゃった」などと冗談を飛ばしていらしたから、私は当然にこの直後退院されて元気に大学へ復帰されるだろうと確信していました。

先生、はっきり云いますけど、快気祝と法学部の歓送会（定年退職の）、まだ済んでいませんからね。われわれみんなは、首を長くして先生の復帰を待っていたんですから。それをすっぽかして、さよならを云わないで行ってしまうなんて・・・。

こうなったら先生、快気祝や歓送会は、私がいつか先生と会うことになったら、もし他にも仲間がいればその人たちと一緒に、やりましょう。そ

れまで待っていてください。他方でわれわれの学科は少なくとも年2回の飲み会は欠かしません（納涼会および忘年会）。もし可能であればその飲み会にはいつでもご出席ください。大歓迎です。われわれに先生の姿は見えなくて残念ですが、先生は是非楽しんでいってください。

思い出も含めて思いつくままに書いてしまいましたが、先生には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。同時に、先ほどの快気祝と歓送会、楽しみにしています。どうかそのときまで先生、お元気でお過ごしください。そしてまたいつかお会いしたら、今度は本当の旧知の間柄として言葉をかけてくださいますか。「それでね*、金子さん、久しぶりだね。」

敬具

* 椎橋先生は、会話の話し始めの冒頭のほぼ全てが「それでね」でした。

[注記] 文中の写真は、山梨学院大学法学部法学科ブログに掲載されたものです。